

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(城北小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・学校と地域との結び付けを強め、「協働」という価値観の中で、互いに協力し合える環境を築いていきたい。「やらまい會」の体制を見直して、地域団体との協働を実現できるような方策を生み出していく。
- ・サポーター拡大・充実のために、「やさしさ」の側面から、命の大切さや、心の豊かさ、生き方等、ソフト面の充実に向けて、眠っている地域人財を発掘し、様々な人の生きざまに触れるような活用方法を工夫し、学校と地域とをつなげていきたい。
- ・子供の命や安全を守るために、地域から「放課後の居場所づくり」「朝の声掛け運動」「交通見守り隊」等、側面からの支援の声が上がっているので、協働してやっていけるよう熟議し、実現していきたい。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・学校は委員へしっかり説明できていたし、委員からはそれぞれの立場から疑問や建設的な意見が出され、活発な意見交換ができた。
- ・学校教育目標の具現化に向けた合言葉『やさしさ』を、子供たちが熟議し〈城北っ子5つのめあて〉が提案され、それらを地域へ発信していこうという経過過程にまで至った。『やさしさ』を子供主体という理想的な形で、学校・地域全体へ具現化していく構想が出来上がり、熟議をつなげられたように思う。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・城北サポーターの支援体制は充実してきた。今年は、地域を知る新たな人財を紹介してもらい、3年「まち探検」、2年「お店探検」等、豊かな活動へとつなげることができた。
- ・どの委員も、学校理解が深く、地域愛と子供たちのためにと、建設的な意見が出され、精度の高い熟議ができていていると思う。運営協議会委員の輪・和・話・笑も広がっている。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・活動内容は学校HPやブログ、さくら連絡網にて配信され、学校支援コーディネーターが中心となってコミスク便り、地域回覧、掲示等、創意工夫ある情報発信をした。
- ・子供たちの提案「城北っ子5つのめあて」を、学校行事で発表したり、地域団体に説明したり、自治会の掲示板に貼る等の前向きな行動は、学校・地域をつなぐ原動力となった。学校への関心・意識を高め、これからの進め方に大きな方向も示してくれた。
- ・学校の環境整備の大変さ（草取り、樹木の剪定、花壇の維持）を目の当たりにし、城北サポーター、PTA、地域が〈協働〉で環境整備に取り組むことができた。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・『やさしさ』を形にするための「城北っ子5つのめあて」（校内向け）「城北の町5つのめあて」（地域向け）を児童の主体性を尊重しながら実現していくための支援活動を行っていく。より多くの大人が、子供の悩みや相談を受け止めることができるように、学校と地域、家庭の連携・協働について熟議していく。